

レイチェル・カーソン

『センス・オブ・ワンダー』

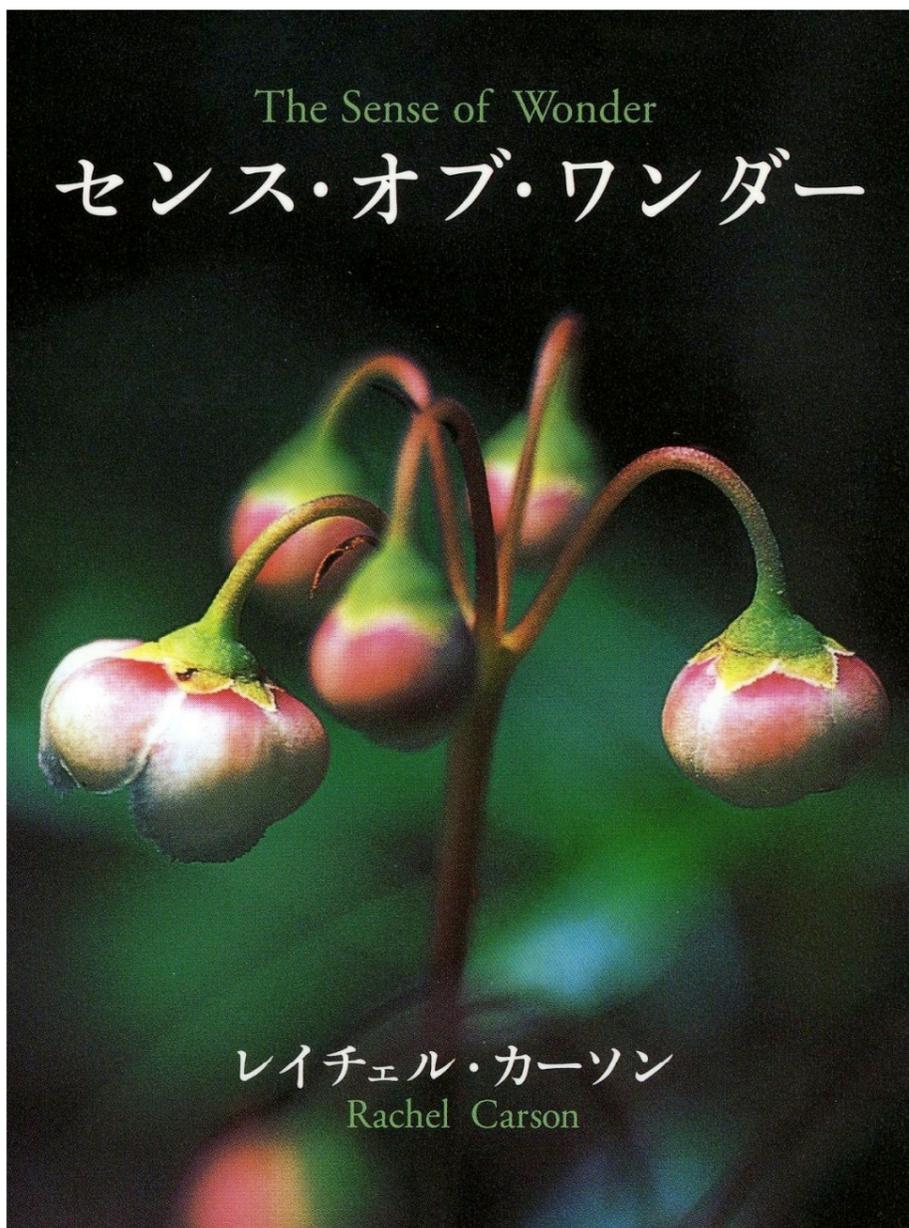
日時 2013年6月15日(土)
15:10開場 15:30開演

場所 法政大学市ヶ谷キャンパス
外濠校舎3階 S306教室
東京都千代田区富士見2-17-1

ないのです

ことの半分も重要では

「知る」ことは「感じる」



『センス・オブ・ワンダー』(レイチェル・カーソン著 上遠恵子訳 新潮社刊)

もしもわたしが、すべての子どもの成長を見守る善良な妖精に話しかける力をもっているとしたら、世界中の子どもに、生涯消えることのない「センス・オブ・ワンダー」の神秘さや不思議さを目を見はる感性」を授けてほしいとたのむでしょう。

『センス・オブ・ワンダー』より抜粋

入場料・参加費無料

<プログラム>

開催時間 15:30~18:00 (15:10開場)

第一部 「レイチェル・カーソンの感性の森」上映

第二部 上遠恵子さんによる講演会

『センス・オブ・ワンダー』

~「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではないのです~

主催・共催・問い合わせ先

主催 法政大学人間環境学部同窓会

共催 法政大学人間環境学部 NPO法人人間環境ネット21

問い合わせ 090-3436-7807(高崎)

講演

かみとお けいこ
上遠 恵子

東京薬科大学卒業。大学研究室勤務後、学会編集者を経て、現在エッセイスト。レイチェル・カーソン日本協会 会長。

主な訳書にR・カーソン著『海辺 - 生命のふるさと』(平河出版社/平凡社)、『潮風の下で』(岩波書店)、『センス・オブ・ワンダー』(新潮社)、P・ブルックス『レイチェル・カーソン』(新潮社)等。

